

- 問1 紀元前2500年ごろ、インド亜大陸西部のインダス川流域に成立した古代文明について、モヘンジョ・ダロやハラッパなどの遺跡に見られる都市の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. 国王の権威を示すために、巨大な石造りのピラミッドや神殿が建設された
 2. ジググラトと呼ばれる聖塔を中心とした、複数の都市国家が形成された
 3. 青銅器とともに甲骨文字が用いられ、大規模なかんがい農業が行われた
 4. 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された
- 問2 紀元前3000年ごろ、西アジアのチグリス川とユーフラテス川の流域で栄えた文明は、肥沃な土地を利用して灌漑農業が行われ、粘土板に刻まれる楔形文字などの独自の文化を生み出しました。この文明の名称として正しいものを選択してください。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 中国文明
 2. インダス文明
 3. エジプト文明
 4. メソポタミア文明
- 問3 古代文明が共通して大河の流域で発達した理由と、その社会の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
1. 赤道周辺の熱帯地域において、自然の産物を利用した狩猟採集を行い、すべての住民が平等に暮らすための巨大な宮殿を建設した。
 2. 大河の氾濫を防ぐための治水や灌漑によって農業生産力が高まり、王などの支配者が現れて神殿を築き、記録のために文字を使用した。
 3. 山岳地帯の厳しい自然環境に適応するため、牧畜を中心とした生活を送り、文字を持たずに口伝のみで法律や歴史を伝承した。
 4. すべての文明において碁盤の目状の計画的な都市が建設され、海岸沿いの交易によって得た富を使い、市民による民主的な議事堂を建設した。
- 問4 紀元前5世紀頃のアテネなど、古代ギリシャの都市国家で見られた政治の仕組みについて、その特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 河川の治水を目的とした強力な王権のもとで、官僚による中央集権的な政治が行われていた。
 2. カースト制度と呼ばれる厳しい身分制度があり、特定の身分のみが政治を独占していた。
 3. 労働を奴隷に依存する社会構造のもと、市民が直接話し合いに参加する政治が行われていた。
 4. 広大な領土を統治するために、各地に知事を派遣して徴税を行う仕組みが整えられていた
- 問5 18世紀後半から、オーストラリアがイギリスの支配下に置かれ、開拓や資源の獲得の拠点となっていた歴史的な状態を指す用語として、最も適切なものを選択してください。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 保護国
 2. 自治領
 3. 植民地
 4. 委任統治領
- 問6 チグリス川・ユーフラテス川の流域で栄えたメソポタミア文明では、粘土板に葦（あし）の茎などを押し付けて、楔（くさび）のような独特な形を組み合わせた文字が使われていました。この文字の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 楔形文字
 2. ヒエログリフ
 3. 甲骨文字
 4. アルファベット
- 問7 かつて日本列島には土器が出現する前の時代は存在しないと考えられていましたが、1949年に相沢忠洋氏が群馬県にある特定の遺跡で、火山灰が堆積した関東ローム層の中から石を打ち欠いて作られた道具を発見したことで、その定説が覆されました。このとき発見された道具の名称と、遺跡名の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 打製石器・三内丸山遺跡
 2. 打製石器・岩宿遺跡
 3. 磨製石器・三内丸山遺跡
 4. 磨製石器・岩宿遺跡
- 問8 7世紀のアラビア半島において、唯一の神アラーから啓示を受けたムハンマドによって創始された宗教は何か、名称を答えなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. キリスト教
 2. ヒンドゥー教
 3. 仏教
 4. イスラム教
- 問9 古代中国の秦の時代に整備された「万里の長城」に関連する記述として、歴史的な背景を正しく説明しているものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 匈奴などの北方遊牧民族の侵入を防ぐために、大規模な防衛線として築かれた。
 2. 農業生産を高めるために、黄河の氾濫を抑える目的で建設された。
 3. 日本から派遣された遣隋使や遣唐使が、最先端の都の造りを学ぶための手本となった。
 4. シルクロードを通じた西方との貿易を独占するために、関所としてのみ活用された。
- 問10 紀元前5世紀頃の世界各地の統治形態を比較したとき、当時のギリシャにおける状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. ボリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。
 2. ピラミッドを建設した王のように、神の化身としての絶対的な権力を持つ個人による統治が主流であった。
 3. 有力な王や皇帝が広大な領土を一括して支配する中央集権的な国家が形成されていた。
 4. 万里の長城などの大規模な土木作業を国家の総力で指揮する、強力な皇帝による統治が行われていた。
- 問11 古代文明で用いられた文字とその記録媒体の組み合わせとして、メソポタミア文明に該当する説明はどれか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 黄河の流域で、亀の甲羅や牛の骨に刻んで古いの結果などを記録した。
 2. インダス川流域で、印章に動物の姿などとともに絵文字として刻まれた。
 3. ナイル川流域で、パピルスと呼ばれる植物から作られた紙のようなものに記された。
 4. 葦のペンをを用い、乾燥させる前の柔らかい粘土板に押し当てるようにして刻まれた。
- 問12 古代ギリシャの代表的なボリスであるアテネにおいて、成人男子の市民全員が参加し、多数決によって国の重要な方針を決定した最高議決機関を何と呼びますか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 元老院
 2. 帝国議会
 3. 三部会
 4. 民会
- 問13 日本列島の旧石器時代における人々の生活環境や道具について述べた説明として、最も適切なものはどれか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 土器を使用して食物を煮るようになり、定住生活が始まった。
 2. 大陸から稲作の技術が伝わり、大規模な環濠集落が形成された。
 3. ナウマンゾウなどの大型の動物を追い、移動しながら生活していた。
 4. 表面を磨いて形を整えた磨製石器を使い、木を加工して家を建てた。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された	インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパは、焼成レンガを用いた整然とした街並みが大きな特徴です。特に、網の目のように張り巡らされた排水用の下水道や、共同で利用されたと考えられる大規模な公衆浴場などは、当時の技術水準が極めて高く、都市が極めて計画的に設計されていたことを物語っています。
問2	答え 4 メソポタミア文明	チグリス川とユーフラテス川の二つの河川の間に位置する地域では、定期的な増水によって運ばれる肥沃な土壌を利用した農業が発展しました。この地域では楔形文字のほかに、太陰暦や六十進法が考案され、その後の文明に大きな影響を与えました。
問3	答え 2 大河の氾濫を防ぐための治水や灌漑によって農業生産力が高まり、王などの支配者が現れて神殿を築き、記録のために文字を使用した。	大河の周辺では、定期的な氾濫によって運ばれる肥沃な土壌を利用した農耕が可能でしたが、大規模な治水や灌漑を行うには多くの人々を組織化する強力な指導者が必要でした。こうして誕生した国家の王は、自らの権力を示すために神殿や宮殿を建設し、徴税や行政の記録、法律の公布などの必要性から文字を発明して使用しました。
問4	答え 3 労働を奴隷に依存する社会構造のもと、市民が直接話し合いに参加する政治が行われていた。	古代ギリシャの都市国家（ポリス）であるアテネでは、成人男性市民が民会に出席して直接政策を決定する直接民主政治が行われました。この市民による政治参加を支えていたのは、生産労働に従事していた奴隷の存在です。この仕組みは現代の民主政治の起源とされています。
問5	答え 3 植民地	1788年にイギリスの船団がシドニーに到着して以降、オーストラリアはイギリスの流刑地や定住地として開発されました。このように、ある国が自国の主権を国外に広げ、軍事的・経済的に支配した土地を植民地と呼びます。当初は先住民であるアボリジニの居住地でしたが、イギリスはこれらを「無主の地」として支配を強めました。
問6	答え 1 楔形文字	メソポタミア文明では、川の流域で入手しやすかった粘土を板状にし、そこに植物の茎などを押し当てることで記録を残しました。この時についた跡が「くさび」の形に見えることから、楔形文字と呼ばれます。甲骨文字は中国文明、ヒエログリフはエジプト文明で使われた文字です。
問7	答え 2 打製石器・岩宿遺跡	群馬県の岩宿遺跡で打製石器が発見されたことにより、日本列島に旧石器時代（土器出現前の時代）が存在したことが初めて証明されました。打製石器は石を打ち欠いて鋭い刃を作った道具で、これに対して石を磨いて形を整えたものは磨製石器と呼ばれ、後の新石器時代（日本では縄文時代以降）に普及しました。三内丸山遺跡は青森県にある縄文時代の大規模な集落跡です。
問8	答え 4 イスラム教	ムハンマドは商業都市メッカで、唯一神アラールの啓示を受けたとしてこの宗教を始めました。聖典をコーランとし、信者の平等や一日に数回の礼拝など、生活全般にわたる厳しい教えを定めたことで、アラビア半島から急速に広まりました。
問9	答え 1 匈奴などの北方遊牧民族の侵入を防ぐために、大規模な防衛線として築かれた。	万里の長城は、秦の始皇帝が北方の遊牧民族である匈奴（きょうど）などの侵入を阻止するために、それまで各国が築いていた壁を修復・連結して大規模な防衛システムとしたものです。この巨大な建造物は、その後の王朝でも修復や拡大が繰り返され、中国の北方を守る重要な境界線となりました。都のモデルとなったのは長安などの「都城」であり、万里の長城とは役割が異なります。
問10	答え 1 ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。	紀元前5世紀頃のギリシャは、エジプトや後に登場する秦・ローマ帝国のような大規模な統一国家ではなく、「ポリス」と呼ばれる自立した都市国家が集まって構成されていました。アテネやスパルタといった各ポリスは独自の統治を行っており、特にアテネでは市民による民主政が発達するなど、広域を支配する君主制とは異なる政治文化を持っていました。
問11	答え 4 葦のペンを用い、乾燥させる前の柔らかい粘土板に押し当てるようにして刻まれた。	メソポタミア文明では、地域で豊富に得られた粘土を記録媒体として活用しました。エジプト文明のパピルスや、中国（殷）の甲骨など、それぞれの文明は身近にある材料を利用して文字を残しました。メソポタミアの粘土板は、乾燥させたり焼いたりすることで、長期的な保存が可能となりました。
問12	答え 4 民会	アテネでは、王や一部の貴族ではなく、市民が自ら政治を行う「民主政」が発達しました。その中心的な役割を担ったのが「民会」です。市民はアゴラ（広場）などに集まり、対話や議論を通じて戦争の開始や法律の制定といった重要な決断を下しており、これは現代の議会政治のルーツの一つとされています。
問13	答え 3 ナウマンゾウなどの大型の動物を追い、移動しながら生活していた。	旧石器時代は氷河時代とも重なり、日本列島が大陸と陸続きになる時期がありました。当時の人々は打製石器を用い、食料となるナウマンゾウやヘラジカなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていました。土器の使用や定住生活が始まるのは、気候が温暖になった後の縄文時代からです。